

2015 年全国高校駅伝競走大会東京都予選会戦前予想

<男子予想>

まず注目すべきは、昨年度覇者の「國學院久我山」だろう。今年も斉藤寛明、遠藤宏夢、打越晃汰の3名がインターハイに出場するなどトラックレースでのスピードは目を見張るものがある。それに加え、佐久間秀徳など新入生も成長してきている。今年は、しらかわ駅伝、日本海駅伝を経験し、都駅伝へ着実に合わせてきている感がある。トラックで培ったスピードをどうロードに活かしてくるか。優勝候補の一つである。

この國學院久我山と優勝争いをすると思われるチームが「東京実業」、「拓大一」、「早稲田実業」あたりであろう。まずは、東京実業。しらかわ駅伝でも3位に入るなど、本番への準備が着々と進められている。エース越川堅太を軸とし、武田悠太郎、藤村遼河、稲毛暉斗など安定して力を発揮できる選手が充実している。世田谷記録会などでも好記録を出した選手も多く、選手層の厚さがうかがえる。駅伝での強さも定評があり、優勝争いに絡んでくるのは間違いないだろう。

次に拓大一。日本海駅伝でも2時間11分33秒で走っており、夏以降着実に力をつけてきている。エース飯嶋健斗は日本海駅伝1区を30分12秒で走っており本番でも区間賞争いに絡んでくるだろう。岡田亨也、谷萩由歩など1年生の成長も著しく、1区で作った流れをつなぐことができれば面白い展開になるだろう。

最後に早稲田実業である。エース斉藤雅英の色が強かった昨年度までとは違い、今年は三上多聞、宍倉健浩など力のある選手が着実に成長を遂げ、総合力も上がってきた。主要区間でどういう展開を作り、流れを作っていくのか見ものである。

その4校を追いかけるのが、「大東一」、「東京」、「保善」、「日体荏原」、都立では「若葉総合」あたりではないだろうか。4校の優勝争いも拮抗しているが、この5校の実力も非常に拮抗している。最後の最後まで気の抜けない展開になるだろう。展開次第では、上位4校にも迫る展開になることも予想される。各校の思惑が交錯する中でどこが主導権を握るのか、可能性はどのチームにもある。

昨年度からスタート時間が全国大会と同じ時間に変わり、より全国大会を意識した大会運営にもなってきた。近年、全国大会では苦戦を強いられている。コース、戦力をみてもどのチームも気力が求められるのは間違いない。全国大会でもそれは必須である。全力をぶつけ合い、選手の可能性が大いに引き出されるレースになることを期待したい。

(文責 強化委員 篠浦)